

SGU

Lunch Time Talk

ランチタイムトーク

2016年

6月30日 木 12:30-13:00

Collaboration Centerエントランス (C館2階)

第2回 SGU Lunch Time Talk

「オランダ語入門」

話し手：白石 英才 (経済学部 経済学科 教授/教務部長)

オランダはヨーロッパの小国ですが日本同様技術立国であり、さらに得意分野が農業・ウィンタースポーツ・観光、と北海道とも共通点があります。またオランダ人は江戸時代を通じて日本人が接触をもった唯一の「西洋人」であり、当時の知識人はこぞってオランダ語を学びました。蘭学(らんがく)として吸収されたその知識の名残は「ビール」や「コーヒー」といった我々にも馴染みの外来語に見ることができます。

ではオランダ語とはどのような言語なのでしょうか。オランダ在住歴8年の講師がわかりやすく解説します。

※イングリッシュラウンジとの連携企画とし、英語・日本語を使って解説します。

Introduction to Dutch

Holland (The Netherlands) is a small country in Europe but it is a high-tech giant like Japan. In addition, the leading sectors of the country have many characteristics in common with Hokkaido, e.g. agriculture, (winter) sport and tourism. In the Japanese history, the Dutch were the only 'Westerners' who had contact with the Japanese throughout the Edo period. Japanese intellectuals learned Dutch to get in touch with the advanced Western science and technology. Influence from Rangaku (Dutch studies) can be still seen in borrowings like bi-ru (bier) or ko-hi (koffie) from Dutch.

The talk is to be held by a lecturer who lived eight years in Holland.

SGU Lunch Time Talkとは

SGU Lunch Time Talkとは、札幌学院大学Collaboration Centerのエントランス(C館2階)にて開催する教職員が伝えたいトピックを話す企画です。ここで扱われるテーマは、教員の研究テーマはもちろんですが、研究から派生したトピックや、教職員が関心を持って取り組んでいること、学生に是非伝えたいこと、など多様なテーマを取り上げます。

「他の学科にどんな研究を行っている先生がいるのか」、「自分の所属する学科をこえて、興味や関心を広げたい」と感じている学生、「札幌学院大学にはどんなことを研究している教員がいるのか」という地域の方々は、是非ご参加ください。ランチタイムですので、軽食をとりながらの参加でも構いません。